第２章　重点整備地区と特定経路

１．特定旅客施設の設定

■　ＪＲ八王子駅、京王八王子駅（バスターミナルを含む）を特定旅客施設として位置づけ、ＪＲ西八王子駅を整備優先性の高い駅として位置づけました。

・ 交通バリアフリー法では、2010 年までに、1 日当りの乗降客数が 5,000 人以上の駅でバリアフリー化を実現することを目標（＊1）としています。
　＊1）この目標が達成できれば、全国において鉄道駅の全利用者数の 9 割をカバーできることになります。

・ 八王子市内には、鉄道駅は 18 駅、モノレール駅は 3 駅、合計 21 駅があり、17 駅が乗降客数 5,000 人／日以上となっています（＊2）。
　＊2）21 駅についてのデータを次頁に整理しています。

・ 基本構想を策定するには、１駅１駅で非常に多くの労力と期間が必要とされることや、本市の財政状況や各事業者の投資力にも限りがあることなどを考慮すると、全ての駅で一気にバリアフリー化を実現していくことは難しい状況にありますが、将来的には、市内全駅でのバリアフリー化を順次進めていくものとします。

・ 委員会では非常に熱心な議論がなされた結果、以下の理由により、本市の玄関口であるＪＲ八王子駅と京王八王子駅（バスターミナルを含む）を特定旅客施設として位置づけました。

【ＪＲ八王子駅と京王八王子駅を特定旅客施設として位置づけた理由】

① 都市計画マスタープランでは、ＪＲ八王子駅・京王八王子駅から西八王子駅間の中心市街地を、都市中心拠点として整備推進することが位置づけられていること。
② ＪＲ八王子駅は、駅の乗降客数が約 16 万人と市内で最も多く、乗降客数約６万人の京王八王子駅と一体となって、市内でも最も多くの人が訪れていること。
③ 両駅には多くのバスが発着し、かつ多くの公共公益施設や商業施設が集積しており、バリアフリーの整備効果が高いこと。

・ また、ＪＲ西八王子駅周辺には、中央図書館、教育センター、八王子盲学校、八王子養護学校などの施設が分布しており、駅の乗降客数も約６万人と比較的多いことから、同駅を整備優先性の高い駅として位置づけ、平成 14 年度にワークショップなどの取り組みを開始しました。

駅別関連データの総括

＊1）鉄道駅平均乗降客数：ＪＲ八王子支社、京王電鉄、多摩都市モノレールからの平成１３年度データ。
＊2）バス路線数：市内のバス路線系統図（平成１３年１月現在）より集計。
＊3）高齢化状況：八王子市市民部市民課の町丁目別５歳階級別人口データ（平成１３年１月１日現在）に基づく。
＊4）主要な施設の状況：平成１３年１月現在の分布状況に基づく。

路線	駅名称	関連計画における駅周辺の位置づけ【都市計画マスタープラン】	鉄道駅		駅より概ね１ｋｍ内の高齢化状況（＊3）(%)	駅より概ね１ｋｍ内における主要な施設の状況（＊4）（箇所）			
			鉄道駅１日当たり平均乗降客数（＊1）（人）	駅別のバス路線数（＊2）（本）		公共施設	福祉施設	主な医療施設	大規模小売店舗
ＪＲ中央線	八王子駅	都市中心拠点	161,686	78	17.7	20		9	5
	西八王子駅	〃	58,054	16	18.3	5	2	3	2
	高尾駅	地域振興拠点	66,782	18	13.3	1	1		1
ＪＲ横浜線	片倉駅		11,628	2	14.5	2			
	八王子みなみ野駅	地域振興拠点	22,526	2	12.8	2			
ＪＲ八高線	北八王子駅		11,980	1	11.0	3			
	小宮駅		3,374	0	9.9				
京王線	京王八王子駅	都市中心拠点	57,605	57	16.5	19		7	6
	北野駅	地域振興拠点	20,668	10	15.9	3		2	1
	長沼駅		5,134	0	20.4				
京王高尾線	京王片倉駅		3,839	0	16.2				
	山田駅		4,058	3	14.6				
	めじろ台駅		18,808	10	16.8	2		2	
	狭間駅		5,356	0	11.6	2		1	2
	高尾駅	地域振興拠点	26,874	17	13.3	1	1		1
	高尾山口駅		7,576	4	21.2	1			
京王相模原線	京王堀之内駅		23,783	3	5.8	3		1	1
	南大沢駅	地域振興拠点	46,207	7	7.4	6			1
多摩都市モノレール	中央大学・明星大学駅		22,318	0	9.9				
	大塚・帝京大学駅		6,908	8	9.9				
	松が谷駅		2,010	1	14.8				
備考					（全市平均）14.3				

表示の区分					
	―	10万人以上	―	―	
	都市中心拠点	5万人以上	50本以上	20%以上	各項目で10箇所以上
	地域振興拠点	5千人以上	10本以上	全市平均14.3%以上	各項目で5箇所以上

■ 都市中心拠点として位置づけられ、駅乗降客数、バス発着本数、主要施設が多く、駅周辺で高齢化も進んでいるＪＲ八王子駅と京王八王子駅の整備優先性が高くなっています。
■ 上記２駅に次いで、ＪＲ西八王子駅、高尾駅での優先性が高くなっています。

2．重点整備地区の位置と区域

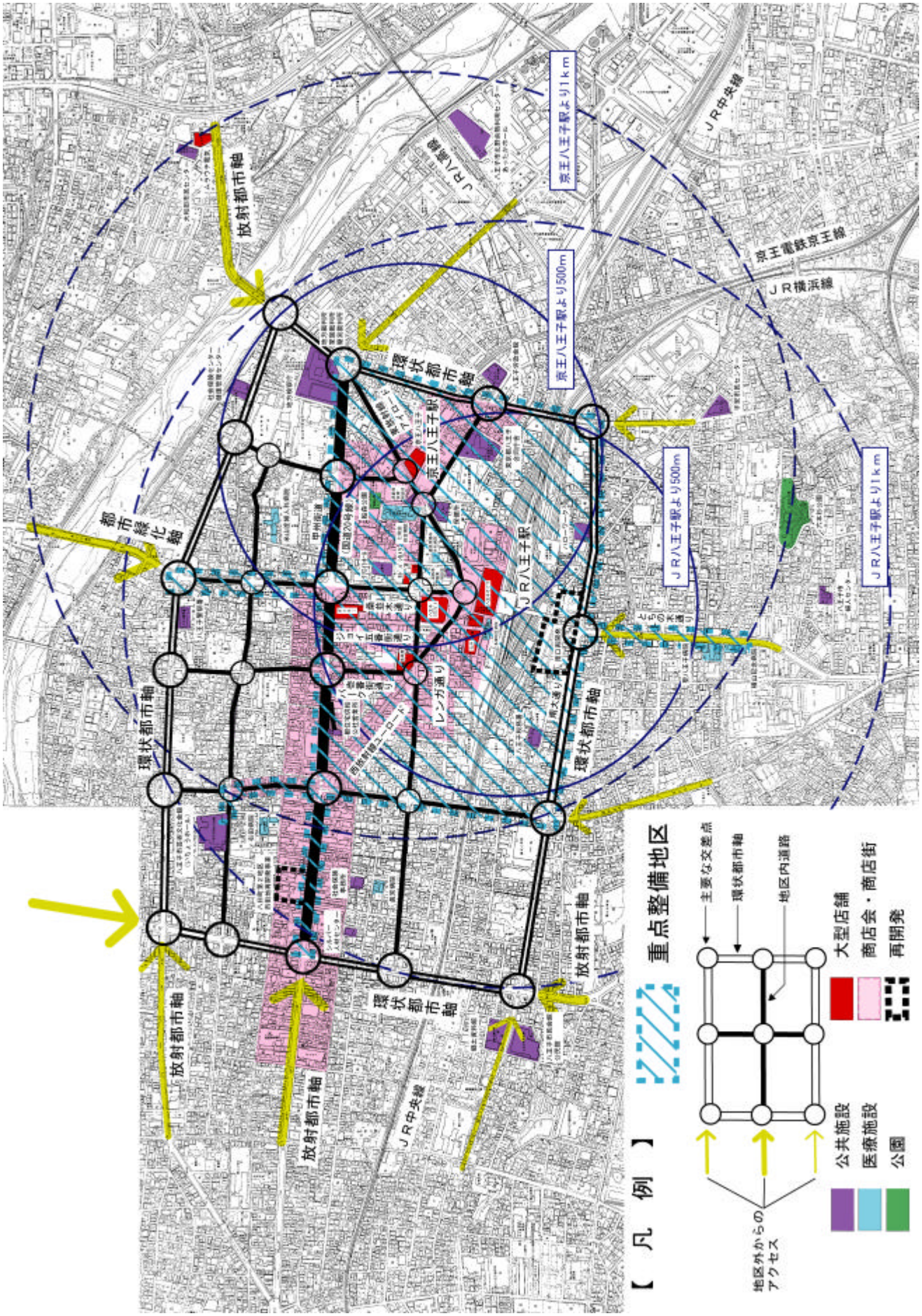
■　重点整備地区は、環状都市軸を基本とし、面的なバリアフリー化を促進する約 74ha の地区を設定しました。

- 交通バリアフリー法では、バリアフリー化を促進する地区（重点整備地区）は、駅舎（特定旅客施設）より約 500mから 1ｋm以内の圏域で、高齢者や身体障害者などが日常生活や社会生活において利用する官公庁施設や福祉施設その他の施設を含み、面的にバリアフリー化を促進していく地区とされています。
- ＪＲ八王子駅及び京王八王子駅の場合、都市計画マスタープランにおいては、八王子駅周辺に環状都市軸を整備して通過交通に対応させ、中心市街地の交通の流れを適切に誘導するとともに、渋滞を緩和する計画となっています。
- このため、ＪＲ八王子駅と京王八王子駅を中心としたバリアフリー化を促進する地区（重点整備地区）は、両駅からの概ね 1km 圏域、環状都市軸（都心環状軸）内の地域、公共公益施設や商業施設などの分布状況を考慮しながら、道路や建築物を一体的にバリアフリー化する地区として、約 74ha を重点整備地区として設定しました。（次頁参照）

注）重点整備地区における沿道建築物との関係は P.26 を参照下さい。

重点整備地区の設定（約 74ha）

注）図中の放射都市軸、環状都市軸、地区内道路は、都市計画マスタープランを踏まえたものです。



３．特定経路の設定

■　ＪＲと京王駅を中心とし、周辺の主要施設や商店街を結ぶ主な移動経路（特定経路）を設定しました。

■　主な移動経路以外の道路については、今後、多様な立場の方々と協働して整備のあり方などを検討していく考えです。

- 交通バリアフリー法では、駅舎（特定旅客施設）と、主要な公共公益・福祉施設を結ぶ道路を“主な移動経路（特定経路）”として位置づけ、2010 年までにバリアフリー化された道路として整備を進めることとしています。
- “2010 年までに整備を進める”としているのは、世界にも例がない超高齢社会に向け、“歩行空間の整備を早急に進めていかねばならない”という背景を踏まえており、車いすがすれ違える有効幅員を 2mとし、その幅員以上が確保できる歩道の質を高めることを目標としています。
- 主な移動経路（特定経路）の設定は、区画道路も含めた地区全体の交通計画に基づいて行うことが望ましいのですが、全体計画を策定するには相当の検討期間が必要とされます。
- このため、本調査では交通バリアフリー法の趣旨に基づいて先ず特定経路を定め（次頁参照）、この計画を契機としながら別途、全体計画を検討していく考えです。
- 特定旅客施設に位置づけたＪＲ八王子駅と京王八王子駅については、参考として、改札口より垂直移動施設（エレベーター）を経由して各ホームに至る経路を示しています。
- 主な移動経路（特定経路）以外の道路については、障害者をはじめとした市民、沿道商店、道路及び交通管理者の方々と整備のあり方などを検討していく考えです。

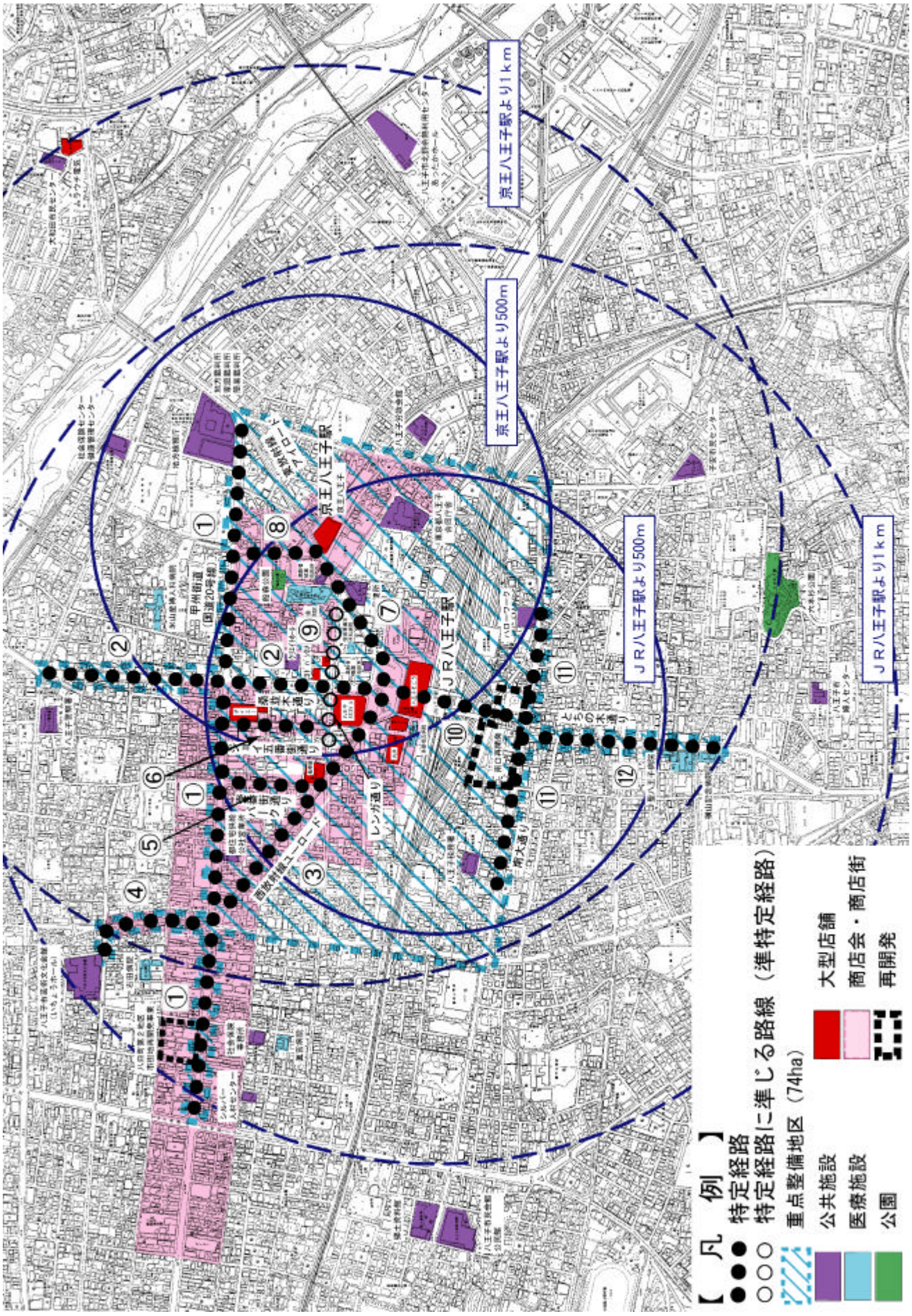
主な移動経路（特定経路）案と全体計画の検討の考え方

【交通バリアフリー法の背景】	【交通バリアフリー法での特定経路の考え方】
世界にも例がない超高齢社会に向け、歩行空間の整備を早急に整備することが必要（目標年次 2010 年）	駅舎と徒歩圏（約 1ｋｍ）内の主要な施設を結ぶ道路を“主な移動経路（特定経路）”として整備（歩道の有効幅員 2m以上）

■ 交通バリアフリー法の趣旨に基づき、歩道の有効幅員が 2m以上確保できる路線の中から特定経路を定めました。なお、今回の計画を契機としながら別途、全体計画を検討していきます。

■ 主な移動経路以外の道路については、別途、障害者をはじめとした市民、沿道商店などの方々と整備のあり方などを検討していく考えです。

主な移動経路（特定経路）の設定／道路・デッキ・駅連絡通路



特定経路（道路）の路線別の概要

地区	図面No.	路線名称	管理主体	主　な　経　路
北　口	①	甲州街道 （国道２０号）	国	ＪＲ駅～甲州街道沿い商店街・裁判所 京王駅～裁判所
	②	桑並木通り	都	ＪＲ駅～クリエイトホール～甲州街道沿い商店街・警察署 京王駅～警察署
	③	西放射線ユーロード	市	ＪＲ駅～西放射線ユーロード沿い商店街～甲州街道沿い商店街
	④	みずき通り	市	ＪＲ駅～いちょうホール
	⑤	パーク壱番街通り	市	ＪＲ駅～パーク壱番街通り沿い商店街～甲州街道沿い商店街
	⑥	ジョイ五番街通り	市	ＪＲ駅～ジョイ五番街通り沿い商店街～甲州街道沿い商店街
	⑦	東放射線アイロード	市	ＪＲ駅～京王駅
	⑧	市道１級２６号線	市	京王駅中央口～甲州街道沿い商店街
	⑨	れんが通り 【準特定経路】	市	京王駅～八王子スクエアビル～西放射線沿い商店街
北口 ～南口	⑩	ＪＲ八王子駅 ～南口連絡通路	市	ＪＲ駅～南口
南　口	⑪	南大通り	都	ＪＲ駅～税務署・ハローワーク
	⑫	とちの木通り	市	ＪＲ駅～聖八王子病院・横山記念病院

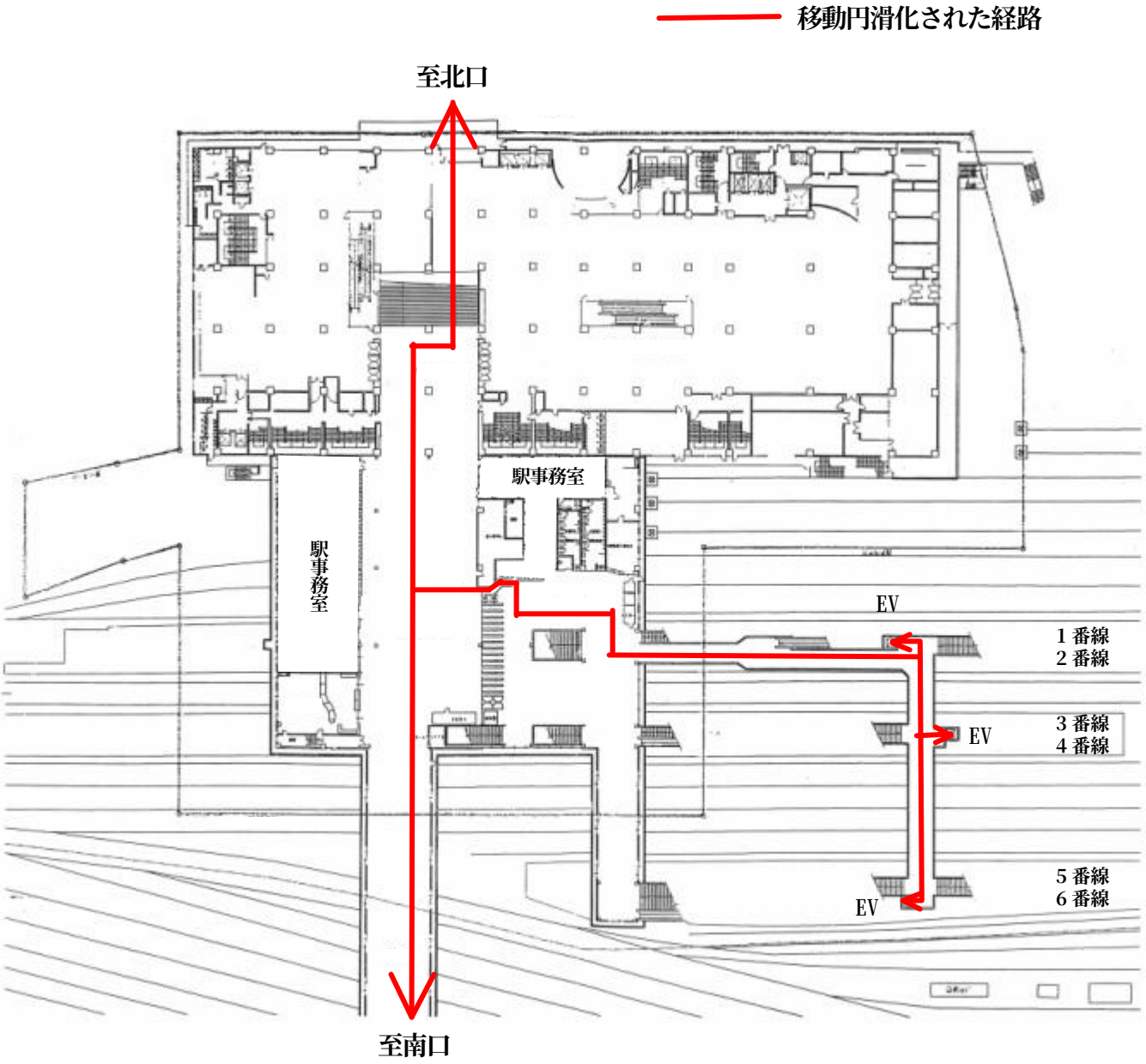
注１）この表は、前頁の図面と対応します。

注２）⑨の「れんが通り」については、歩道の有効幅員が２m確保できないことから、“特定経路に準じる路線”（準特定経路と呼称）として位置づけています。

【参考：移動円滑化された経路について／駅舎・コンコース（1/2)】

※）特定旅客施設として位置づけたＪＲ八王子駅において、駅舎周辺及び改札口より垂直移動施設（エレベーター）を経由して各ホームに至る「移動円滑化された経路」を参考として示す。

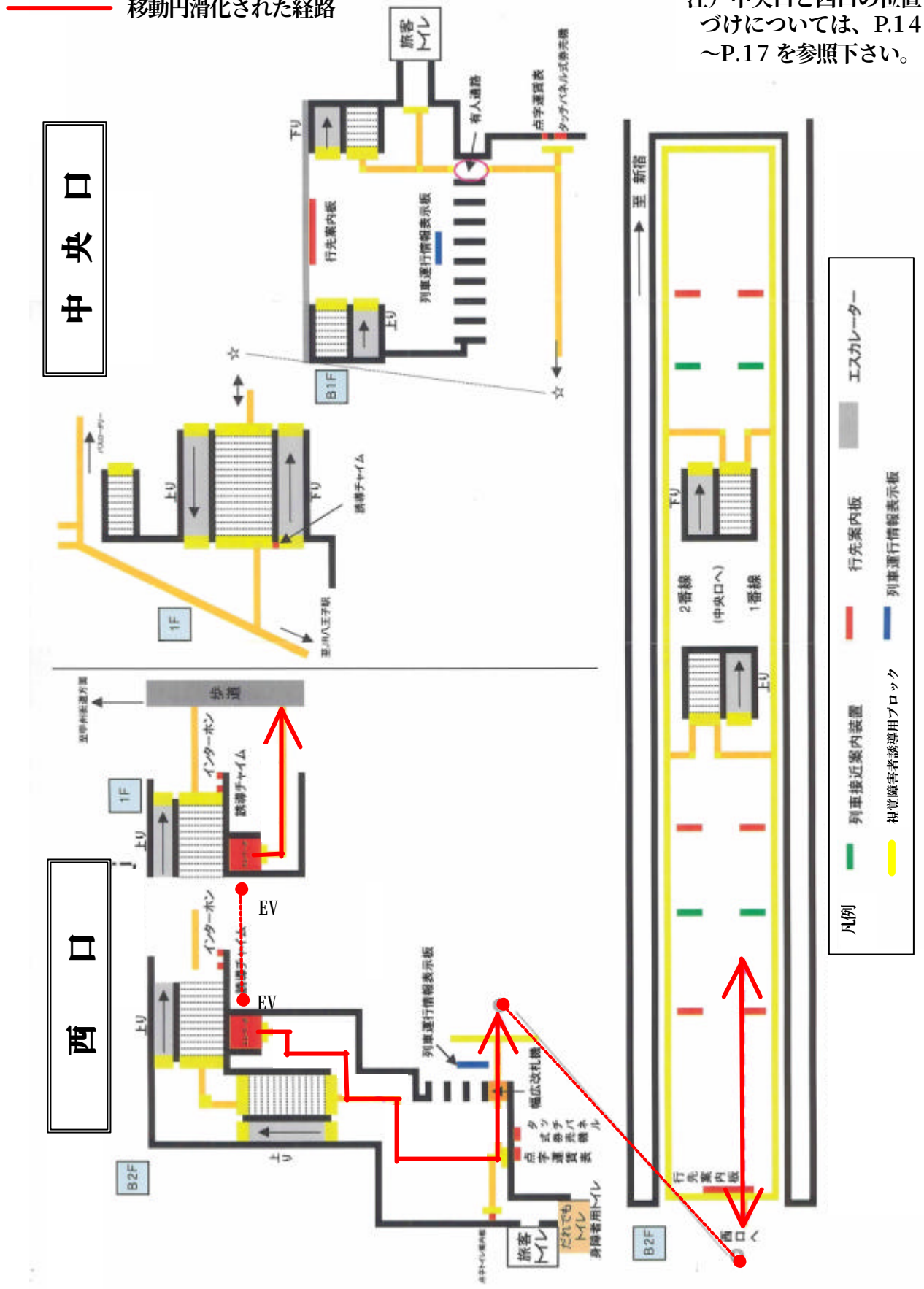
ＪＲ八王子駅



【参考：移動円滑化された経路について／駅舎・コンコース（2/2）】

※）特定旅客施設として位置づけた京王八王子駅において、駅舎内及び改札口より垂直移動施設（エレベーター）を経由して各ホームに至る「移動円滑化された経路」を参考として示す。

京王八王子駅

移動円滑化された経路

注）中央口と西口の位置づけについては、P.14～P.17 を参照下さい。